



# 陽光

【学校教育目標】 夢をもち 光かがやく中部っ子の育成  
～自分だいすき！友達だいすき！中部小だいすき！～

## 1・2年生：子どもヨガに挑戦！

6月17日(水)に1年生が、24日(水)に2年生が子どもヨガに挑戦しました。子どもヨガインストラクターの「がっちゃん先生」をお迎えし、ヨガを通して楽しく体を動かし、姿勢よく座っていただける体作りを目指して行っていただいた授業です。

最初に、よい姿勢だと3つのいいことがあるお話がありました。1つ目は、いらいらしない、2つ目は集中できる、3つ目は呼吸がしやすいです。

その後、「動物園に行こう」をテーマに様々な乗り物に乗ったり、動物になりきったりしながら、ヨガの動きを行っていきました。授業後は、「楽しかった！」という声がたくさん聞かれました。これを続けていくことで、よい姿勢を保つことができるようになると思います。



## 6年生：キャリア教育講話「当たり前を当たり前で生きる」

6月19日(金)に、元アメフト実業団選手であり、大阪で小学校の教員の経験を持つ吉村竜太郎さんを講師としてお迎えし、キャリア教育講話をしていただきました。吉村さんは、「日本一のアメフトチーム」に所属し、そこから学んだこととして、「毎日、当たり前で努力を積み重ねられること」だとお話しされました。細かいところまで当たり前を最後までやりきる大切さを伝えられ、『当たり前チャレンジ』の提案をされました。今は自分の当たり前でないことを100日続けることで、自分の当たり前にするという取組です。それぞれこれなら100日余裕で続くことを考え、取り組むこととしました。

また、現在の自分について、5年程前に双極性障がいという心の病になったお話をされました。そのことで、「約束ができない」「飛行機に乗れない」「毎日働くことができない」と失うものもあったけれど、「深い優しさ」「熊本の子どもたちに夢が育まれる授業を届ける人という新しい人生」を手に入れたとお話しされました。そして、自分が一番大切にしている感情は、『安心感』で「自信が持てる時」「なかまがいる時」と話されました。自信を持ち、なかまと協力し、安心感が持てた中で、様々なことにチャレンジしてほしいというメッセージをいただきました。



【児童の感想】  
○つらくて苦しい時に、幸せを見つけていることがすごいと思いました。  
○みんなが安心して過ごすためには、「当たり前」を増やしていくことだと思いました。  
○安心するためには、自信が必要だし、自信を持てば、何事にも挑戦できることが分かりました。

## 3年生：書写指導「初めての習字」

中部小学校では、3年生の「初めての習字」の時間に、中部小学校の地域の方にゲストティーチャーとして、ご指導に来ていただいています。まず、筆の持ち方を丁寧に教えていただき、書く時の姿勢を学びました。そして今回は、横画の書き方の練習で、「二」の文字の書き方を学びました。まずは、お手本を見て、それぞれ「二」を書きました。その後、始筆、送筆、終筆の書き方を学び、書くときのリズム「トン、スー、トン」を学びました。書き方を学んだ後の「二」の文字が力強く、上達しておりびっくりしました。子どもたちは、もっと上手に書きたいと意欲的に練習をしました。秋にももう一度ご指導に来ていただくことになっていて、子どもたちも習字の時間を楽しみにしています。

